

「試合に出ることを許されない3年次生の存在価値とは」

まずは3年次生に。力を付けてきた2年生の存在、能力の高い新入生の加入により、チーム状況は変わってきているかもしれませんが、最後は3年次生。1・2年次生とは積み重ねたものが違います。最後にチームを勝利に導くのは、3年次生です。

インターハイを目指す以上、チームが勝つことにこだわることは当然のことだと思っています。勝ちにいく以上、チームの状況や故障により、試合に出ることを許されない3年次生の選手も存在するのではないかと察します。

そのような選手が、心の底から勝利を願いながら懸命に練習し、ベンチ内外から声が枯れるほど声援を送っているのであれば、私は、そのような選手のことを一人間として尊敬します。試合に出ることを許された選手と同等、もしくは、それ以上の存在価値があるのではないかと考えます。

試合に出ることを許された選手は、そのような価値ある選手の想いを背負ってゲームに出る以上、勝利を諦める、ハードワークしない、そういった振る舞いをしてよい理由はないものと私は考えます。

チーム全体で戦い、たくさんのトロフィーを、校長室に持って帰ってきてください。6月4日の全道壮行会では、全員「前」にいてください。